

令和 7 (2025) 年度

事業活動報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 健翔会

1. 総 括

令和7年度における国内外経済情勢は、物価や人件費の上昇傾向が続く一方で、介護・福祉・保育分野において人材確保の難しさが依然として深刻な年度であった。特に、光熱費や食材費の高騰は、施設運営に直結する費用の増加として顕在化し、事業経営に一定の影響を及ぼした。さらに、最低賃金の引き上げ等により、職員の処遇改善と経営の両立が求められた年度でもあり、効率的な業務運営や各種加算の適切な算定などが重要な課題となった。

このような状況の中、当法人においても物価高騰の影響は大きく、高齢者施設の建物・設備の維持管理に加え、光熱費や給食費の増加が財務面の負担となり、経営状況を低下させる要因となった。しかしながら、そうした厳しい経営環境においても当法人では経営の安定とサービスの質の確保を目的として、下記の通り各種取組を実施した。

1. 特養館内改修工事について

当施設は開設から21年が経過しており、建物の老朽化への対応と入居者及び職員の利便性向上を目的として、特養館内の改修工事を実施した。

改修では、ユニット内の食堂及びその周辺廊下、隣接トイレのうち使用していない個所を撤去し、使いやすさの向上と空間レイアウトの見直しを図った。主に、内装をリフォームし、明るく落ち着いた雰囲気へと模様替えを行った。また、食堂周辺の廊下幅を広げたことで見通しが良くなり、入居者の転倒リスクの早期発見など、安全管理の向上を図った。

2. 特養の定床化について

5月1日付けで、入所定員を60床から62床に増床し、短期入所定員を10床から8床へ減床する変更を行った。

3. 補助金・助成金の事業について

今年度は、競輪及びオートレースの補助事業を活用し、短期入所事業所に機械浴槽（総事業費540万円）を導入した。補助金としては404万円（事業費3/4）の交付を受け、残額約135万円を自己負担として整備を行った。

4. 広報活動について

高齢者施設・事業所及び保育園の広報活動においては、まず統一感のある様式を企画・整備し、各事業所がその様式に沿って写真や文書を作成できるよう継続的に支援した。加えて、印刷業者と協議を通じてリーフレット等の広報資材を作成し、関係機関等へ配布した。その結果、各事業所の特色と取組内容を効果的かつわかりやすく伝えることができた。

5. デイサービスセンターについて

職員の体制等の見直しを行い、令和7年4月より休止していた土曜営業を、

令和8年1月より再開した。再開当初、土曜日の利用者数が少ない状況だったが、年度末には少しずつ増加してきた。併せて、啓発・周知活動を行い、ご家族に土曜日追加利用の案内を配布、また、ケアマネジャー向けに土曜日再開のおしらせと土曜の特徴をまとめた資料を配布した。更に、見学・体験利用を土曜日に受け入れることをケアマネジャーに周知した。

6. 給食業務について

調理員不足が続き、業務の見直しや効率化に継続して取り組んできた。しかしながら、最低必要人員を下回る状況が続いたため、やむを得ず既製品(ナリコマ)を一時的に導入し給食提供の継続を図った。

一方で、既製品の継続的な利用は、今後の価格高騰の影響に加え、当施設としての給食への取り組み方針や品質に与える影響が懸念された。そのため同時期に、近隣の高齢者施設と連携し同一内容の食事を当施設へ配送してもらう体制を整え、通常に近い形で食事提供に努めた。

年度末まで調理員を新たに確保できる見通しが立ち、今後は自施設での調理体制を回復させるとともに、より安定した給食提供の実現をめざしていく。

7. 管理職等による定例会の設置について

法人及び事業所の安定的な運営を図るため、月1回、主任・次長・副施設が参加する定例会を設置し、高齢者施設に関する情報の共有を行うこととした。それにより、法人の運営及び経営方針に基づいた統一的な取組を推進し、検討すべき課題及び取組む内容を明確化することができた。引き続き次年度も継続することにした。

8. 保育内容について

乳児クラス(0～2歳)では担当制保育を、幼児クラス(3～5歳)では縦割り保育を実施し、一人ひとりの成長および発達を細かく見守る保育に努めた。その結果、子ども理解の深化と安定した生活リズムの確立につながった。また、保護者との信頼関係づくりにも継続して取り組み、双方のコミュニケーションを大事にしたことで、安心感と安定感のある保育環境について高い評価が得られた。

今後も、栖市の子どもの数の減少傾向も踏まえ、地域に根ざした保育としての信頼を深めながら、選ばれる保育園の確立を目指す。併せて、安定した園児数を計画的に確保できるよう持続可能な園運営体制の構築を進めていく。

9. 法人事務局について

人口減少と物価高騰など厳しい経済環境の中でも安定した法人運営を維持するため、管理体制の強化と規程見直しや職員研修を進めた。収入確保と経費節減に努めつつ、予算編成の精度向上と経営分析を行い、財務の健全化と処遇改善の両立を図った。育児介護休業法改正を踏まえ、全職員が働きやすい環境整備を進めたほか、新卒採用の早期化や紹介企業との連携により人材確保にも取り組んだ。

2. 事務局

令和7年度は、人口減少・超高齢化の進行や物価高騰、最低賃金の上昇など、福祉法人を取り巻く経済環境が一段と厳しさを増す中で、地域に根ざした安定的な運営を継続することを目的として取り組みを進めた。結果、地域の期待に応える福祉サービスの提供と法人の持続的な発展を図る一年となった。

1. 法人管理体制の強化として、諸規程の見直しと職員研修を実施し、組織としての統一的な理解と運営基盤の整備を図った。これにより、法人全体で共通認識を持ちながら業務を遂行できる体制づくりを進めた。
2. 人材確保の面では、新卒採用の早期化を継続し、養成校訪問や就活サイトの活用を行ったほか、新たに看護・介護・保育分野の紹介企業と提携し、中途採用の強化にも取り組んだ。これにより、慢性的な人材不足が続く福祉分野において、より幅広い採用チャネルを確保し、安定した職員体制の構築を目指した。
3. 働きやすい職場環境の整備については、令和7年度の育児介護休業法改正を踏まえ、男女、正規・非正規を問わず全職員が、育児や介護と仕事と両立できるよう規程の改正を行った。育児期の支援体制を強化することで長期的に安心して働き続けられる環境づくりを進めた。
4. 財務面では、物価上昇や人件費増が避けられない状況の中で、収入確保と無駄な経費の削減に継続して取り組んだ。予算編成の精度向上と適正な執行を徹底し、日本経営の助言を取り入れながら、運営会議での経営分析や収支報告を通じて柔軟で健全な財務構造の維持に努めた。これらの取り組みにより、適正な利益の確保と職員処遇改善の両立を目指した。

5. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会開催状況

年月日	出席者数 同意者数 (定数)	議 題	欠 席 者 数	監事出席も しくは同意 書の有無 (出席者数)
-----	----------------------	-----	------------------	----------------------------------

R7. 6. 10	(6)	6	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 報告 1 報告 2	令和 6 年度事業報告(案)及び計算書類等(案)の承認の件 令和 7 年第 1 回定時評議員会の招集(案)の承認の件 評議員選任解任委員会の開催と評議員候補者推薦(案)の承認の件 次期役員(理事・監事)候補者推薦(案)の承認の件 社会福祉法人健翔会定款変更一部改正(案)の承認の件 諸規程・規則の制定及び一部改正(案)の承認の件 賞与支給率(案)の承認の件 理事長及び常務理事の職務執行状況経過報告について 特別養護老人ホームひまわりの園館内改修工事の進捗状況について	0	(2)	有
R7. 6. 25	(6)	6	第 1 号議案 第 2 号議案	理事長選定の承認の件 常務理事選定の承認の件	0	(2)	有
R7. 11. 25	(6)	6	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 報告 1	「レインボー保育園賃借地購入(案)」の承認の件 「社会福祉法人健翔会定款変更一部改正(案)」の承認の件 「諸規程・規則の制定および一部改正(案)」の承認の件 「令和 7 年度第 2 回評議員の書面決議(案)」の承認の件 特別養護老人ホームひまわりの園館内改修工事の竣工報告について	0	(2)	有
R8. 3. 18	(6)		第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案	令和 8 年度事業計画(案)及び計算書類等(案)の承認の件 社会福祉法人健翔会定款の一部改正(案)の承認の件 施設長(園長)の人事(案)の承認の件 評議員選任・解任委員の選任(案)の承認の件 令和 7 年度児童福祉行政(保育所関係)指導監査結果について 令和 7 年度第 3 回評議員会開催(案)の承認の件	0	(2)	有

			報告 1	理事長及び常務理事の職務執行状況 経過報告について			
--	--	--	------	------------------------------	--	--	--

(2) 評議員会開催状況

年月日	出席者数 (定数)		議 題		欠 席 者 数	監事出席の 有無 (出席者数)	
R7. 6. 25	(7)	5	第 1 号議案 第 2 号議案 第 3 号議案 報告 1	令和 6 年度事業報告(案)及び計算書 類等(案)の承認の件 次期役員(理事・監事)候補者推薦 (案)の承認の件 社会福祉法人健翔会定款の一部改 正(案)の承認の件 特別養護老人ホームひまわりの園 館内改修工事の進捗状況について	0	(0)	無
R7. 12. 2 (書面決議)	(7)	7	第 1 号議案 第 2 号議案 報告 1	「レインボー保育園賃借地購入 (案)の承認の件 「社会福祉法人健翔会定款変更一 部改正(案)」の承認の件 特別養護老人ホームひまわりの園 館内改修工事の竣工報告について	0	(0)	無
R8. 3. 26	(7)	5	第 1 号議案 第 2 号議案 報告 1	令和 8 年度事業計画(案)及び計算 書類等(案)の承認の件 社会福祉法人健翔会定款の一部改 正(案)の承認の件 理事長及び常務理事の職務執行状 況経過報について	0	(0)	無

2. 許認可に関すること

(1) 所轄庁等対する許認可申請及び届出

年月日	内 容	内 容 詳 細
R7. 4. 2	産業医選任報告書提出（佐賀労働 基準監督署長）	令和 7 年 4 月より職員の健康診断実施機関が 今村病院から福岡健康管理センターに変更す るのに伴い、産業医についても同センター医 師に変更することとなったため
R7. 4. 14	令和 7 年度介護給付費算定に係る 体制等に関する届出書の提出（佐 賀県長寿社会課）	令和 7 年度介護報酬改定に伴い介護給付費算 定に係る体制等に関する届出書の提出（特 養）
R7. 6. 28	資産の総額変更申請（佐賀県地方 方法務局）	令和 6 年 6 月 10 日理事会、6 月 25 日定時評 議員会により承認された資産額の登記につい て申請
R7. 7. 10	令和 7 年度労働保険概算確定保険 料申告書の提出（鳥栖市長）	労働保険料の令和 6 年度の確定額、令和 7 年 度の概算額の申告
R7. 7. 14	定款変更届の提出（鳥栖市長）	定款の条文の一部改正について変更届を提出
R7. 9. 1	就業規則の条文の一部改正につい て変更届を提出（佐賀県労働基	就業規則の条文の一部改正について変更届を 提出

	準監督署長)	
R7. 7. 14	佐賀県医療・福祉・保育施設等物価高騰対応支援金の申請（佐賀県知事）	佐賀県の物価高騰による補助金の申請書類の提出
R7. 7. 16	通所介護事業所の指定更新申請書の提出（佐賀県知事）	令和 8 年度の指定更新申請書類の提出
R7. 12. 3	通所事業所の運営規定変更届出書の提出（佐賀県知事・鳥栖地区広域市町村圏組合）	通所事業所の営業日を、土曜日を増やし月曜から土曜日までとする旨の変更届出書の提出
R8. 1. 13	居宅介護支援事業所の指定更新申請書の提出（鳥栖地区広域市町村圏組合管理者）	令和 8 年度の指定更新申請書類の提出

3. 鳥栖市・法務局などに関すること

(1) 届出

年月	内 容	内 容 詳 細
R7. 4. 11	令和 7 年度介護職員等処遇改善加算及び介護人材確保・職場環境等事業計画書の提出（佐賀県長寿社会課・鳥栖地域広域市町村圏組合）	平成 7 年度の介護報職員等処遇改善加算の計画書と 2 月に通達された介護人材確保・職場環境等事業の計画書を提出
R7. 5. 14	令和 6 年度障害者雇用納付金申告書、障害者雇用状況等報告書提出	障害者の雇用促進等に関する法律第 52 条、74 条に基づき資料を作成提出
R7. 6. 1	経済構造実態調査票の提出（総務省・経済産業省）	2023 年経済構造実態調査横断調査票を提出
R7. 6. 12	公益法人等の損益計算書等の提出（鳥栖市税務署長）	令和 6 年度法人単位事業活動計画書を提出
R7. 6. 17	令和 6 年度財務諸表等の提出（鳥栖市長）	福祉医療機構の電子システムによる現況報告書等を提出
R7. 7. 3	2023 年度事業報告書提出（独立行政法人福祉医療機構）	施設状況表、現況報告書財務諸表を提出
R7. 7. 6	民間非営利団体実態調査調査票の提出（内閣府経済社会総合研究所）	政府統計調査の民間非営利団体実態調査令和 2 年度調査票の提出
R7. 7. 12	障害者雇用状況報告書・高齢者雇用状況報告書（佐賀労働局職業安定部）	高年齢雇用状況報告書・障害者雇用状況報告書の提出
R7. 7. 30	令和 6 年度介護職員等処遇改善加算等実績報告書の提出（佐賀県知事・鳥栖地区広域市町村圏組合）	令和 6 年度の処遇改善支援金の実績報告書の提出
R7. 8. 1	令和 7 年介護人材確保・職場環境改善事業計画（追加）及び誓約書（佐賀県知事）	介護人材確保や職場環境改善等の補助金の計画書の提出
R7. 9. 1	就業規則変更届の提出（佐賀労働基準監督署長）	就業規則の条文の一部改正について変更届を提出
R7. 9. 1	農用地利用集積等促進計画書の提出（佐賀県農業公社 理事長）	利用権設定農用地の賃貸借期間の更新のため計画書を提出
R7. 9. 29	令和 7 年介護人材確保・職場環境	介護人材確保や職場環境改善等事業実績報告

	改善事業実績報告書の提出（佐賀県知事・鳥栖地区広域市町村圏組合）	書の提出
R7. 10. 15	令和 7 年老人施設等調査票の提出（厚生労働省）	令和 7 年 9 月末日現在の介護サービス事業所の事業所調査票の提出
R7. 10. 29	令和 7 年度介護人材確保・職場環境改善事業（追加分）実績報告書の提出（佐賀県知事）	介護人材確保や職場環境改善事業（追加分）実績報告書の提出
R7. 11. 14	定期健康診断結果報告書の提出（佐賀労働基準監督署）	令和 7 年 9 月実施の定期健康診断結果の報告書等を提出
R7. 11. 14	結核に係る定期の健康診断実施報告書の提出（鳥栖保健所福祉事務所経由）	令和 7 年 9 月実施の定期健康診断結果について報告書を提出
R7. 12. 9	心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書の提出（佐賀労働基準監督署長）	令和 7 年 9 月実施のストレスチェックの結果について報告書を提出
R8. 3. 25	令和 8 年度時間外・休日労働に関する協定書・協定届提出（佐賀労働基準監督署）	各事業所の従業員代表を選出し、労使協定を結び協定届・協定書を提出

4. 指導監査等の状況

（1）社会福祉法及び児童福祉法

関係法令	実施日	内 容	対象施設等	文書指摘事項
児童福祉法	R7. 8. 19	保育園の指導監査	虹の子保育園	有
	R7. 8. 26	保育園の指導監査	レインボー保育園	無
	R7. 8. 27	保育園の指導監査	あいりす保育園	無
社会福祉法	R8. 2. 10	社会福祉法人の指導監査	法人全体	有

5. 法人収入及び支出に関する事項

（1）法人収入に関する事項（受贈の承認・寄付金に関する事項）

受贈または寄附者	物品等または金額	寄附年月日	備 考
佐々木 孝子	3,000,000 円	R7. 6. 17	法人のため
五十嵐 裕美	100,000 円	R8. 3. 12	法人及び施設のため

（2）固定資産支出に関すること

契約内容	金 額	契約日	支払日	備 考
ポータブル受信器（特養）	555,500 円	R7. 4. 3	R7. 5. 30	㈱エルシー 改修工事のための仮居室用の離床センサーとナースコールの設置のため
スチールラック（特養）	663,520 円	R7. 4. 3	R7 5. 30	㈱スマートクリーン 各ユニットの倉庫の整理整頓をおこない、業務の効率化を図るため

カラー複合機 (きらら館)	649,000 円	R7. 3. 13	R7. 5. 12	(株)ソアー 旧式の複合機を使用していたため故障が多くなり、新機種に買い替えのため
外遊具わんぱくボート (ありがとう)	1,743,500 円	R7. 6. 4	R7. 7. 31	(有)コスモ保育社 土俵を撤去し、その場所に希望の多かった外遊具を設置するため
L型デスク 4 台 (特養)	528,000 円	R7. 8. 25	R8. 1. 30	(株)エルシー 競輪補助事業の補助金により車椅子介護浴槽を購入

(3) 契約結果報告

区分	契約名称	契約日	契約業者	金 額
リース	スチームコンベクション (虹の子保育園)	R7. 4. 22	(株)キューコーリース	36,410 円(税込) /月額 (全体価格 2,621,520 円)
リース	ビジネスNAS (あいりす保育園)	R7. 4. 23	佐銀リース (株)	8,800 円(税込) /月額 (全体価格 528,000 円)
リース	ビジネスNAS (レインボー保育園)	R7. 4. 23	佐銀リース (株)	8,800 円(税込) /月額 (全体価格 528,000 円)
リース	ノートパソコン 2 台 (特養)	R7. 5. 7	佐銀リース (株)	7,260 円(税込) /月額 (全体価格 435,600 円)
再リース	オイル焚無圧水式温水発生機 (調理室)	R7. 6. 30	佐銀リース (株)	131,076 円(税込) /月額 (全体価格 1,572,912 円)
リース	洗浄除菌水生成装置ポラリエットプチ (レインボー保育園)	R7. 10. 1	リコーリース (株)	17,908 円(税込) /月額 (全体価格 1,289,376 円)
再リース	クックチルスシステム (調理室)	R7. 10. 24	(株)日医リース	89,100 円(税込) /月額(全体価格 1,069,200 円)
リース	ノートパソコン 2 台 (あいりす保育園)	R7. 11. 12	佐銀リース (株)	17,270 円(税込) /月額(全体価格 1,036,200 円)
リース	複合機・パソコン (オンリーワン)	R7. 11. 20	佐銀リース (株)	15,400 円(税込) /月額 (全体価格 924,000 円)
リース	パソコン4 台 (虹の子保育園)	R7. 12. 2	佐銀リース (株)	13,500 円(税込) /月額 (全体金額 825,000 円)
再リース	事業用車セレナ (デイサービス)	R7. 12. 2	佐銀リース (株)	30,800 円(税込) /月額 (全体金額 739,200 円)
再リース	事業用車セレナ (デイサービス)	R8. 1. 27	佐銀リース (株)	44,550 円(税込) /月額 (全体金額 1,069,200 円)
リース	モバイルパソコン 5 台 (レインボー保育園)	R8. 2. 5	佐銀リース (株)	15,180 円(税込) /月額 (全体金額 910,800 円)

6. 規程・規則に関すること

(1) 規程・規則の整備

諸規程・規則	分 類	施行年月日	備 考
就業規則	一部改正	R7. 7. 1	管理監督者の条項を一部変更
給与規則別表	一部改正	R7. 7. 1	早出手当に該当する支給要件を追加

7. サービスの品質の管理

(1) 令和7年度苦情解決報告書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

分類	事業所	内 容	原 因	対応策等	苦情解決の有無	第三者の立会・報告(有・無)
介護・高齢者福祉事業	ケアハウス コスモスの園	なし				
	特別養護老人ホーム ひまわりの園	①家族より入居者が入居時に着用していたボロシャツが失くなっているとの報告がある。 ②入居者よりテレビの液晶にひびが入り、テレビが観れないとの報告がある。	①職員が脱衣介助後、洗濯籠に入れ、行方が分からなくなった。ボロシャツを全ユニット探索したが、見つからなかったため。 ②職員が介助している時にテレビに当たり倒れた可能性が高かったため。	①現物相当額を家族へお支払いしました。 ②同等品を新たに購入のうえ入居者へお渡しました。	有	無
	ひまわりの園 短期入所サービス	なし				
	ひまわりの園 デイサービス センター	なし				
	ひまわりの園 居宅介護支援事業所	なし				
	調理室	なし				
	レインボー保育園	なし				
保育・子育て事業	子育て支援センター きらら館	なし				
	虹の子保育園	なし				
	子育て支援センター オンリーワン	なし				
	あいりす保育園	保護者から特定職員が使用している柔軟剤の香りが強く、近くにいると気分が悪くなることがある。抱かれた子どもの衣服にも香りが移っているの『香害』について学んでほしい。	個人で使用している柔軟剤の量が多かったり、香りが強かったりしたため。	投稿された当日に、急遽報告会を設けて、柔軟剤の使用量を調整すると同時に、可能な限り無香料製品を使用するよう周知しました。	有	無
	子育て支援センター ありがとう	なし				
	放課後児童クラブ にじのひろば	なし				
	レインボー保育園	なし				

8. 人事に関すること

(1) 職員とパート職員の配置人数

令和8年4月1日現在（単位：人）

事業所名等		職員	パート職員	合計
介護・高齢者福祉事業	本部事務局	5	0	5
	ケアハウス コスモスの園	7	6	13
	ひまわりの園 デイサービスセンター	9	6	15
	ひまわりの園 居宅支援事業所	4	0	4
	特別養護老人ホーム ひまわりの園 (介護職員数)	45 (35)	14 (7)	59 (42)
保育・子	レインボー保育園	17	11	28

育て事業	(保育士数)	(13)	(8)	(21)
	子育て支援センター きらら	0	3	3
	虹の子保育園 (保育士数)	11 (9)	15 (11)	26 (20)
	子育て支援センター オンリーワン	0	4	4
	あいりす保育園 (保育士数)	10 (8)	9 (8)	19 (16)
	子育て支援センター ありがとう	0	4	4
	放課後児童クラブ にじのひろば	1	6	7
合 計		109	78	187

(2) 入退職者数

令和8年3月31日現在(単位：人)

事業所名等		入 職		退 職	
		職員	パート	職員	パート
介護・高齢者福祉事業	本部事務局	1	0	0	0
	ケアハウス コスモスの園	0	2	0	0
	ひまわりの園 デイサービスセンター	0	0	0	0
	ひまわりの園 居宅支援事業所	0	0	0	0
	特別養護老人ホーム ひまわりの園	5	1	4	5
	調理室	0	4	3	2
保育・子育て事業	レインボー保育園	1	0	2	1
	子育て支援センター きらら	0	0	0	0
	虹の子保育園	2	1	1	3
	子育て支援センター オンリーワン	2	1	0	1
	あいりす保育園	3	0	4	3
	子育て支援センター ありがとう	0	0	0	0
	放課後児童クラブ にじのひろば	0	0	0	1
合 計		14	9	14	16

3. ケアハウス コスモスの園

当施設の令和7年度においては、感染対策を世間一般の水準に近づけるために、入居者のマスク着用を緩和したが、その結果としても施設内での感染症の発生を招くことなく運営することができた。

入居者確保については、退居時期を調整しつつ、新規入居者の受け入れを行った。その結果、退居者14名、新規入居者13名で推移し、年間を通してすべての月初めにおいて満床を維持することができた。

1. クラブ活動では、気候の良い時期に憩いの広場で、年2回のグランドゴルフ大会とそれに備えた練習を楽しまれた。大会の参加者は、5月に10名・11月には12名と増えた。

敷地内にある畑を利用した「コスモス農園」では、7区画の個別農地を6名の契約者が利用し、それぞれが季節の野菜や花の栽培に取り組みされており、収穫した野菜は自分で調理されたり、ほかの入居者にお分けになったりすることで、皆さまに楽しまれていた。

また、駐車場周辺の花壇において、苗植えや草取りなどの作業を積極的に手伝われている。その様子からケアハウスでの生活の中で役割や生きがいを感じておられることがうかがえた。

2. 感染症発生時における業務継続計画（BCP）に基づき、感染者（感染疑いを含む）が施設内で発生した場合であっても、サービス提供を継続できるよう、実地研修及び訓練をそれぞれ1回実施した。

また、入居者のインフルエンザ予防接種については、10月に施設内で集団接種を行い、39名が接種を実施された。

なお、清掃員及び保守管理員についても、清掃箇所の見直し及び清掃拠点の確認等を実施した。

3. 身元保証人との情報交換をする際、電話・メール・LINE・手紙等を活用して、行き違いが起きないように努めた。

また、身元保証人の面会時には、ケアマネジャーやサービス事業所職員と共に日頃の生活状況を説明し、施設で自立した生活ができるようサービスの支援を行った。

4. 鳥栖市内のミニバスを活用することで、入居者・家族・近隣住民等、自家用車がなくても生活に支障のない環境を整えることができ、買い物や友人との食事等を楽しめるようになり、施設の魅力発信にもつながった。

また、鳥栖市予約型乗合タクシー「チョイソコとす」を入居者が積極的に活用し、外出時の移動負担を軽減することができた。

5. 利用者の毎日の日課として、食堂の大型スクリーンを利用しながら、音楽

療法コンテンツ「健康王国」を活用し、毎日の体操を楽しく行う環境を整えた。

また、「とすっこ体操」も定着し、入居者が要介護認を受けることなく、体力の維持・向上を図りながら、安心して楽しく豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援した。

6. 人事異動した職員が職場環境に早く慣れるよう、スケジュールを作成し各種研修期間を設けた。その研修を通して、事務費対応、入居者・家族への相談対応及び日々の業務の流れ等を概ね習得することができた。

また、資格取得の勉強等を通して専門職としての知識を高め、相談対応やサービスの調整等に取り組むことで、業務の幅を広げることができた。

ハラスメントについては、法人全体の勉強会やマナー研修等を通じて、職員・入居者・家族等間で発生しないように学び合い、離職者を出さないよう努めた。

7. 日頃より入居者の安心・安全を確保しつつ、緊急時には迅速に対応できるよう、機械警備や設備の専門業者等と連携し、安心して生活できる環境を整えた。

また、災害時の対策として職員の防災意識を高めるため、防災訓練を実施した。訓練には各部署の職員にできるだけ多く参加してもらい、職員間で防災に関する共通認識を深めることができた。

さらに、自然災害発生時における業務継続計画（BCP）を策定し、自然災害が発生した場合においてもサービス提供を継続することができるよう、実地研修および訓練を年に各 1 回実施した。さらに、建築設備及び防災設備についても、万が一の火災等に備え、必要な組織体制を整備した。

8. ホームページ上で施設情報の更新を随時行い、常に最新の情報を発信した。

また、鳥栖・三養基地区の地域包括支援センターへ挨拶まわりを行ったことで、2 名の新規入居者を確保した。さらに、紹介センターとも連携を図り、1 名の新規入居へつなげた。

9. 館内の衛生管理と感染防止対策を強化するために、清掃業務を担当する障害者雇用を継続し、清掃技術の向上に努めた。

建物設備については、食堂床の段差解消工事を行い、入居者の生活環境の改善を図った。

また、貯水槽エリアの加圧ポンプ 1 号機の経年劣化に伴い更新し、安定して安全な給水が行える環境を整えた。

10. 令和 7 年度の事業実績は次表のとおり。

階層別、月別利用人員内訳

[illegible]

ケアハウス コスモスの園出身地別集計
2026/3/31 現在

府県名	市町村名	小計
佐賀県	鳥栖市	17
	佐賀市	2
	嬉野市	1
	基山町	2
	みやき町	3
	上峰町	3
福岡県	小郡市	2
	太宰府市	1
	福岡市	5
	柳川市	1
	北九州市	2
	志免町	1
	岡垣町	1
熊本県	玉名市	1
	熊本市	1
大分県	大分市	1
長崎県	南島原市	1
滋賀県	八日市市	1
京都府	亀岡市	1
愛知県	名古屋市	1
	春日井市	1
合計		49

入居者年齢別状況			
区 分	全 体	男	女
60～64 歳	0	0	0
65～69 歳	2	1	1
70～74 歳	1	0	1
75～79 歳	8	3	5
80～84 歳	13	1	12
85～89 歳	12	2	10
90～94 歳	12	2	10
95～99 歳	1	0	1
計	49	9	40
平均年齢	84.5	81.9	85.1
昨年の平均年齢	84.1	80.0	85.0

令和7年度 ケアハウス入退居状況

男女別	入居者	退居者
男	2	2
女	11	12
計	13	14

入居・退居の理由

入 居		退 居	
独居	7 名	他施設	10 名
同居	5 名	長期入院	4 名
他施設	1 名	特養	0 名
計	13 名	計	14 名

入 居 内 訳	
紹介センター	1 名
ホームページ	4 名
包括支援センター	2 名
居宅介護支援事業所	1 名
市役所	1 名
親族が法人のサービスを利用していた	2 名
理事長紹介	1 名
元職員紹介	1 名
計	13 名

入居者の要介護・要支援等認定状況

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	計
男	0	3	2	1	0	0	6
女	3	8	7	8	1	0	27
計	3	11	9	9	1	0	33

※入院等の為、認定のみで未利用 2 名

服 薬 事 務 所 管 理

5 名

薬剤師管理

12 名

ひまわりの園デイサービス利用

5 名

令和7年度行事实績 ケアハウス コスモスの園					
年月別回数		行 事 内 容	回数	延参加人員	平均参加人員
年	1 回	鳥栖市市議会議員不在者投票	1	31	31
	1 回	鳥栖市高齢者福祉部会施設見学	1	18	18
	1 回	席替え	1	45	45
	1 回	敬老祝い渡し	1	39	39
	1 回	入居者健康診断	1	38	38
	1 回	参議院議員不在者投票	1	26	26
	1 回	衆議院議員不在者投票	1	31	31
	1 回	インフルエンザ予防接種	1	39	39
	1 回	中村部屋力士握手会	1	26	26
	1 回	居室点検	1	49	49
	1 回	忘年会	1	41	41
	1 回	訪問演奏会	1	32	32
	1 回	新年祝賀会	1	41	41
	1 回	初詣	1	14	14
	1 回	初笑い	1	18	18
	1 回	徳昌寺様法話	1	27	27
	1 回	畑（苗植え・収穫・芋ほり）	1	5	5
	1 回	花壇（花植え・草取り）	1	4	4
	2 回	消防訓練	2	67	34
	2 回	グランドゴルフ大会	2	22	11
	2 回	消防点検	2	97	49
	3 回	美容の日	3	16	5
	3 回	七夕飾り	3	31	10
	3 回	お茶会	3	54	18
	4 回	外食ドライブ（紫陽花・ヤクルト工場・高良山・桜）	4	61	15
	4 回	風船バレー	4	41	10
	4 回	衣料品訪問販売会	4	60	15
月	1 回	カラオケ	4	46	12
	1 回	移動図書館	12	126	11
	1 回	血圧測定	12	163	14
	1 回	大賀薬局販売	12	44	4
	2 回	出張販売	23	303	13
	2 回	ショッピング	24	281	12
	3 回	美容室	35	232	7
	5 回	ヤクルト販売	46	528	11
週	1 回	手芸クラブ	12	71	6
	1 回	とすっこ体操	35	391	11
	1 回	朝の歌・嚙下体操	37	312	8
	1 回	グランドゴルフ	37	187	5
	3 回	健康体操	119	1172	10

（小数点以下四捨五入）

4. 特別養護老人ホーム ひまわりの園

令和7年度の重要事業として、館内の食堂等の改修工事を実施した。工事期間前から月2回の関係職員による協議を行うとともに、設計事務所および施工業者との打ち合わせも随時行った結果、工事中に大きな事故は1件も発生せず、当初のスケジュール通りに改修工事を完了することができた。

入居稼働率は90.7%となり、前年度とほぼ同水準結果となった。要因としては、上半期には空床が目立ち、入院者が増加したが、下半期にはほぼ満床を維持、入院者も減少したことにより、稼働率が概ね95%前後で推移したことが挙げられる。令和8年度においても、同水準の稼働率を継続していく必要がある。

1. 食堂等の改修工事を行ったことで、ユニット全体が明るく落ち着いた雰囲気に変わっただけでなく、廊下の幅が広がったことで食堂や各居室への見通しがよくなり、入居者様の安全面の向上に繋がった。
2. ユニットリーダーのスキルアップを目的として、ユニットリーダー研修の受講を予定していたが、慢性的な人手不足により現場の業務を優先されたため本年度の研修参加を見送った。令和8年度には、研修に参加させ、資質向上を図って行く。
3. 施設内研修では計6回の研修を実施し、法定研修に加えて歯科衛生士による口腔ケア研修など、実務に直結する内容に取り組んだ。それにより職員の専門的知識と技術が向上し、施設全体のサービスの質の向上に繋がった。
4. 各専門職が集まり、入居者様ごとに定期（3ヶ月に1回）及び状態変化時のカンファレンスを実施し、健康管理やケアの統一を図ることで、重症化の予防に努めた。その結果、延べ入院者数は前年度の1,344人から令和7年度は944人へと400人減少した。
5. 現場の課題改善や他職種との情報共有、連携強化等を目的としてフロアマネージャーを配置したが、人手不足の影響により、実際には現場での介護業務が中心となり、本来の配置目的を果たすことができなかった。現在、フロアマネージャーは不在であるが、人員が確保できた段階で役割や業務内容を明確にした上で改めて配置を検討する必要がある。
6. ユニットリーダーを含めた役割の明確化や、組織体制の見直しを行い、介護現場での問題点の早期発見と速やかな対応を心掛けることで、離職防止に努めてきた。しかし、慢性的な人手不足解消には至っていない。今後もICTの活用による業務負担の軽減や、職場における人間関係のストレス軽減、職員の適切な評価とキャリアアップの機会提供を継続的に進めることで、職

員のモチベーション向上を図り、離職防止に繋げる必要がある。

7. 令和7年度の事業実績は次表のとおり。

特別養護老人ホーム（62床）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4	365
入所者数	59	58	57	56	57	58	57	61	61	62	60	62	59.0	708
稼働総日数	1,800	1,922	1,860	1,922	1,922	1,860	1,922	1,860	1,922	1,922	1,736	1,922	1880.8	22,570
延利用者数	1,597	1,700	1,674	1,665	1,694	1,592	1,708	1,740	1,835	1,782	1,672	1,812	1705.9	20,471
待機者①	22	22	20	22	21	20	22	23	25	23	28	24	22.7	272
待機者②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
入院者	1	5	2	1	3	4	2	1	3	2	2	2	2.3	28
延入院者	93	123	110	36	65	116	102	31	47	117	37	67	78.7	944
延外泊	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0.4	5
平均	53.2	54.8	55.8	53.7	54.6	53.1	55.1	58.0	59.2	57.5	59.7	58.5	56.1	
稼働率	88.7%	88.4%	90.0%	86.6%	88.1%	85.6%	88.9%	93.5%	95.5%	92.7%	96.3%	94.3%	90.7%	
介・看常勤換算	38.78	38.81	38.03	39.88	37.27	39.08	39.92	40.26	40.15	37.69	40.42	38.72	39.08	
他常勤換算	5.78	5.74	5.76	5.71	5.44	5.78	5.94	5.69	5.75	5.64	5.86	5.18	5.69	
計	44.56	44.55	43.79	45.59	42.71	44.86	45.86	45.95	45.90	43.33	46.28	43.90	44.77	

※待機者①＝要介護3以上、待機者②＝要介護2以下

令和7年度 介護老人福祉施設・短期入所生活介護 年間予定（実績）

月	季節行事	実習生受け入れ	その他
4月	お花見(桜)		防災訓練（日中想定）
5月	母の日会 端午の節句		施設内研修
6月	父の日会		
7月	七夕会		入居者健康診断 施設内研修
8月	夏祭り(全体)	佐賀女子短期大学	
9月	敬老祝賀会(全体)	九州医療専門学校 歯科衛生士科	職員健康診断 施設内研修
10月	球技（風船バレー、ボウリング、玉入れ）		防災訓練（夜間想定）
11月	お花見（コスモス）	アカデミー看護専門学校	インフルエンザ予防接種 施設内研修
12月	忘年会 クリスマス会	アカデミー看護専門学校 神崎清明高等学校	
1月	新年祝賀会 正月遊び ボランティア「コールとりんす」による慰問	アカデミー看護専門学校	施設内研修
2月	節分 バレンタインデー		
3月	ひな祭り ホワイトデー	アカデミー看護専門学校	夜勤職員健康診断 施設内研修

※誕生会は、入居者様の誕生日に各ユニットにて実施

※毎月、介護あんしん相談員の受け入れ実施

5. ひまわりの園 短期入所サービス

上半期に特養の空床を短期入所で活用したことで、多くの受け入れが可能となり、短期入所の稼働率は99.1%と、前年度の92.4%を上回る結果となった。また、一度限りの利用にとどまらず定期的な利用につながったケースや、短期入所による長期利用を経て、特養へ入居されたケースが3件みられた。

1. 看護師の人員増加に伴い、短期入所にも看護師を配置することが可能になったことで、医療的処置を必要とする利用者の受け入れ体制を整えることができた。令和8年度には、短期生活看護体制加算の算定も予定している。また、緊急の相談に対しても迅速に対応、その後の利用にも繋げることができた。
2. 集団体操については毎日継続して実施できている。それ以外の時間でも、利用者同士での会話やコミュニケーションの場の提供を心掛け、他の利用者や職員との交流を通じて、生活の活性化が図られるよう支援することができた。
3. 適切な居室管理と事前の利用者情報の提供と共有を密に行うことで、空床を有効に活用することができ、稼働率の向上につなげることができた。
4. 担当者会議には可能な限り参加し、利用者の心身の状態や生活状況について情報共有を行った。また、利用者および家族の意向を聞き取り、その内容をサービス計画反映することで、利用者の満足度向上につながるよう努めた。
5. 毎月の実績配布時に当月および翌月の空床状況を案内することで、安定した稼働率の確保につなげた。また、年1回は居宅介護支援事業所への挨拶回りを行い、新規利用者の獲得に努めた。
6. 令和7年度の事業実績は次表のとおり。

短期入所生活介護事業（8床）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30.4	365
実人数	40	32	32	33	41	42	40	35	38	34	33	33	36.1	433
稼働総日数	300	248	240	248	248	240	248	240	248	248	224	248	248.3	2,980
延利用者数	287	286	217	213	271	268	274	241	230	228	194	246	246.3	2,955
平均	9.6	9.2	7.2	6.9	8.7	8.9	8.8	8.0	7.4	7.4	6.9	7.9	8.1	
稼働率	95.7%	115.3%	90.4%	85.9%	109.3%	111.7%	110.5%	100.4%	92.7%	91.9%	86.6%	99.2%	99.1%	
介・看常勤換算	7.05	5.55	5.54	5.61	5.28	5.40	4.92	4.98	4.92	5.45	5.87	5.65	5.52	
他常勤換算	2.24	2.23	2.24	2.26	2.09	2.24	2.33	2.21	2.24	2.18	2.28	1.70	2.19	
計	9.29	7.78	7.78	7.87	7.37	7.64	7.25	7.19	7.16	7.63	8.15	7.35	7.71	

特養・短期（計 70 床）

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均	合計
特養・短期入 所合計	1,884	1,986	1,891	1,878	1,965	1,860	1,982	1,981	2,065	2,010	1,866	2,058	1,952	25,378
特養・短期入 所合計平均	62.8	64.1	63.0	60.6	63.4	62.0	63.9	66.0	66.6	64.8	66.6	66.4	64.2	
合計稼働率	89.7%	91.5%	90.0%	86.5%	90.6%	88.6%	91.3%	94.3%	95.2%	92.6%	95.2%	94.8%	91.7%	
介・看常勤換算	45.83	44.36	43.57	45.49	42.55	44.48	44.84	45.24	45.07	43.14	46.29	44.37	44.60	
他常勤換算	8.02	7.97	8.00	7.97	7.53	8.02	8.27	7.90	7.99	7.82	8.14	6.88	7.88	
計	53.85	52.33	51.57	53.46	50.08	52.50	53.11	53.14	53.06	50.96	54.43	51.25	52.48	

6. デイサービスセンター ひまわりの園

令和7年度は要支援者に関して、年間延べ人数が346人となり、令和6年と比較し、27人減となった。また、要介護者に関しては、6,218人となり、令和6年と比較すると、1,107人減という結果となった。

利用者数が落ち込んだ要因は、人員体制等の事情で令和7年4月より土曜日の営業を9か月間休止したことが大きい。職員体制の見直し等を行い、令和8年1月より土曜日の営業を再開し、稼働率の回復に努めている。

1. 新規の利用者の獲得の為に、デイサービスの特色をイメージしやすいように新たにリーフレットを作成し、各事業所のケアマネジャーに空き状況等を案内した結果、令和7年度は実際に体験利用された方が48名で、そのうち利用が決定したのは32名となった。内訳は要介護者が27名、要支援者が5名であった。令和6年と比較すると、体験者が22名増、利用決定者が15名増となった。またホームページの検索により、利用に繋がったケースも数件確認した。
2. 様々なニーズに合わせたサービスの提供を念頭におき、選択制のレクリエーション活動を試験的に実施した。外部のボランティアによる訪問演奏会や中村部屋の力士による慰問等、外部の方との交流の機会にも恵まれ、大変喜んで頂いた。また積極的に高校や専門学校の実習生を受け入れることで、若者との交流が利用者の楽しみとなっており、今後も画一的ではなく、ニーズに合わせた多様なサービスの提供や、外部との交流等で他事業所との差別化を図っていきたい。
3. 土曜日の営業を休止したことによる稼働率の減少は否めないが、以前より職員1人ひとりが利用者増員について意識するようになり、令和8年度の稼働率の向上に活かしていきたい。
4. ケアの質の向上や見直しの為に定期的に部署内研修会を実施、居宅介護支援事業所と合同での研修会も行った。また、少しずつではあるが、オンラインでの外部の研修への参加が出来てきており、令和8年度は積極的に研修会に参加する機会を設け、より一層の職員の資質及び接遇向上に努めたい。
5. 職員間で定期的に意見交換を行って、働きやすい、風通しの良い職場環境を目指し、必要時は他部署と連携を図りながら、離職者ゼロ及びハラスメント予防に努めた。
6. 令和7年度の事業実績は次表のとおり。

ひまわりの園デイサービス 令和7年度年間行事実績

月	行事内容	月	行事内容
4 月	室内ゲーム(風船バレー・卓上カーリング) 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 誕生会・カラオケ 脳トレ・なぞなぞクイズ 作品作り・書道 お楽しみ(お花見ドライブ・手芸)	10 月	運動会・ケアハウス対抗風船バレー 室内ゲーム(トランプ・すごろく) 映写会・オンラインレクリエーション 書道・紙芝居・作品作り 脳トレ・おしゅれ美術 誕生会・カラオケ お楽しみ(ドライブ・折り紙)
5 月	室内ゲーム(魚釣りゲーム・オセロ) 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 書道 脳トレ・囲碁手玉 作品作り 誕生会・カラオケ お楽しみ(新緑ドライブ・スクラッチアー	11 月	室内ゲーム(風船バレー・積木風ゲーム) 脳トレ・音楽体操 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 書道・作品作り 脳トレ・音楽体操 誕生会・カラオケ 紅葉ドライブ
6 月	室内ゲーム(すごろく・輪投げ) 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 書道・かるた 脳トレ 作品作り・七夕飾り作り 誕生会・カラオケ お楽しみ(手芸・ドライブ)	12 月	クリスマス・忘年会 脳トレ・紙芝居・オンラインレクリエーショ 室内ゲーム(輪投げ・ストライクアウト) 体操・おしゅれ美術 映写会・作品作り 書道・かるた 誕生会・カラオケ大会 訪問演奏会
7 月	七夕飾り付け・スイカ割り 室内ゲーム(金魚すくい・卓上ホッケー) 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 書道・かるた 脳トレ 作品作り 誕生会・カラオケ お楽しみ(手芸・スクラッチアート)	1 月	福笑い・ぜんざい会・新年会 室内ゲーム(フリスビー・囲碁手玉) 新春すごろく 体操・おしゅれ美術 映写会 オンラインレクリエーション 脳トレ 作品作り 誕生会・カラオケ
8 月	夏祭り 室内ゲーム(色分けゲーム・ボーリング) 体操・おしゅれ美術 映写会・オンラインレクリエーション 書道・脳トレ 誕生会・カラオケ 作品作り お楽しみ(切文字・スクラッチアート)	2 月	節分 室内ゲーム(トランプ・囲碁手玉) 体操・おしゅれ美術 映写会 紙芝居・かるた 脳トレ・オンラインレクリエーション 作品作り・足浴 誕生会・カラオケ
9 月	敬老会 室内ゲーム(色分けゲーム・風船バレー) 映写会・オンラインレクリエーション 書道・脳トレ・体操 作品作り・おしゅれ美術 誕生会・カラオケ お楽しみ(工作・スクラッチアート)	3 月	室内ゲーム(ストライクアウト・陣取りゲー 体操・おしゅれ美術 映写会・春のビンゴ大会 お菓子作り・足浴 脳トレ・オンラインレクリエーション 作品作り・お楽しみ(キーホルダー作り) 誕生会・カラオケ

7. ひまわりの園 居宅介護支援事業所

令和年7度は、経験年数の長い職員が定着したことで、新規利用者を多く獲得することができた。

また、音声入力や携帯端末を活用したICTの導入により、記録業務などの効率化を図り、職員の業務負担軽減につなげた。

利用者に対しては、多様なニーズや背景を抱える利用者とその家族に対し、適切なケアマネジメントを実施し、住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう支援することに努めた。

1. 各種研修への参加

介護支援専門員として、ケアマネジメントの理解を深め技術の向上を図ることで、利用者に質の高いサービスを提供できるよう、各種研修に積極的に参加した。

2. 保険給付の適正化

保険者が開催した居宅支援事業所の集団指導およびケアプランの共同点検に出席し、サービスの質の確保と保険給付の適正化について再確認を行った。

3. 各種加算の取得

特定事業所加算を継続して取得するため、算定要件である各種会議の開催および研修会への参加を計画的に実施した。

職員ごとの担当件数を確認し、随時新規利用の受け入れを行った。

給付管理業務においては、各種加算の算定要件を把握し、請求漏れや再請求が発生しないよう、内容確認と情報共有に努めた。

4. ICT化の取り組み

パソコンや携帯端末を用いた情報共有アプリの活用、音声入力による記録、ケアプランデータ連携システムの活用など、情報通信技術を取り入れることで、業務の効率化と標準化に取り組んだ。

5. 困難事例への対応

困難事例については、行政機関や地域包括支援センターへ相談し、関係機関と連携して対応方法を協議することで、解決に向けた支援に取り組んだ。

6. 地域包括ケアシステムの推進

介護支援専門員として、地域包括ケアシステムの推進を目的に、多職種との連携強化および介護予防の推進に継続して取り組んだ。

7. 令和7年度の事業実績は次表のとおり。

令和 7 年度 居宅介護支援事業所 請求実績

	令和 6 年度		令和 7 年度		令和 7 年度 内訳（介護度別）				
	利用者数	うち新規	利用者数	うち新規	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4 月	117	1	112	2	70	27	11	2	2
5 月	120	4	114	2	69	26	14	3	2
6 月	122	7	113	4	70	24	12	3	4
7 月	119	2	111	2	68	24	13	3	3
8 月	113	2	113	3	66	26	15	3	3
9 月	115	3	113	2	64	24	16	4	5
10 月	115	4	122	9	72	26	17	3	4
11 月	118	3	124	5	73	26	18	2	5
12 月	120	4	122	5	73	26	16	2	5
1 月	117	1	118	4	72	24	15	2	5
2 月	109	2	128	8	79	25	14	4	6
3 月	113	4	127	5	77	29	13	3	5
総計	1,398	37	1,417	51	853	307	174	34	49

加算・減算実績

	事業所加算Ⅱ	初回加算	入院時情報 連携加算Ⅰ	入院時情報 連携加算Ⅱ	同一建物減算
4 月	112	2	1	2	7
5 月	114	2	2	1	7
6 月	113	4	6	0	7
7 月	111	2	3	2	10
8 月	113	2	2	0	9
9 月	113	6	0	0	9
10 月	122	9	2	1	12
11 月	124	5	2	2	10
12 月	122	5	2	3	9
1 月	118	4	2	0	7
2 月	128	8	0	3	7
3 月	127	5	1	2	7
合計	1,417	54	23	16	101

令和 7 年度研修、会議参加実績

外部研修、会議

	研修、会議名	参加人数
4 月	令和 7 年度 4 包括合同ネットワーク会	3
	グリーンケアフォーラム・オンラインセミナー 『心疾患、専門医が期待する在宅における多職種連携』	1
5 月	令和 7 年度第 1 回鳥栖地区介護支援専門員協議会全体研修会	4
	鳥栖地区介護支援専門員協議会総会	4
	令和 7 年度第 1 回自立支援ケア会議 B	1
6 月	介護職員等基礎研修『BCP（業務継続計画）と災害対応』	3
	グリーンケアフォーラム・オンラインセミナー 『2025 年運営指導 問われる『日常業務』とは？』	1
	介護保険住宅改修施工業者登録（更新）研修会	3
	介護職員等基礎研修『ポイントを押さえた支援経過の記入法』	4
7 月	令和 7 年度鳥栖地区広域市町村圏組合居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所に係る集団指導	4
	長寿社会開発センター研究セミナー「統合失調症、発達障害、パーソナリティ障害という診断のある利用者の支援」	1
	介護職員等基礎研修『介護・看護職員が知っておきたい薬の知識と工夫』	1
	株式会社トーカイ ケアマネジメントにおける「家族支援」セミナー	4
8 月	介護職員等基礎研修『マインドフルネスについて』	2
9 月	介護職員等基礎研修『アセスメントの重要性と相談援助技術の基本について』	1
	令和 7 年度鳥栖地区広域市町村圏組合在宅医療・介護推進事業 退院調整ルール改訂に係る第 1 回医療・介護合同検討会	1
	長寿社会開発センター研究セミナー「メンタルヘルス対策～ストレスマネジメントの実践～」	1
	グリーンケアフォーラム・オンラインセミナー 『難病者・生活困窮者支援編』	1
10 月	令和 7 年度第 2 回鳥栖地区介護支援専門員協議会研修会地域包括支援センター主任介護支援専門員職種会研修『災害BCP研修～BCPマニュアルを活用してみよう～』	4
	令和 7 年度他法人合同研修会 『ヤングケアラーについて』	4
	令和 7 年度鳥栖地区広域市町村圏組合在宅医療・介護推進事業 退院調整ルール改訂に係る第 2 回医療・介護合同検討会	1
	鳥栖地区広域市町村圏組合ケアプランの共同点検	3
11 月	介護職員等基礎研修『コミュニケーション力を養う説明力向上研修』	1
	「介護の日」相談会	1
12 月	介護職員等基礎研修『障害制度と介護保険制度の連携について』	2
	長寿社会開発センター研究セミナー「地域共生社会と生活困窮者支援」	1
1 月	介護職員等基礎研修『フレイルと予防』	1
2 月	グリーンケアフォーラム・オンラインセミナー 『2026 年度介護報酬改定・処遇改善加算のポイント最新解説』	1
	令和 7 年度第 3 回鳥栖地区介護支援専門員協議会全体研修会	2
	令和 7 年度福祉サービス苦情解決研修会（WEB 研修会）	1
	佐賀県主任介護支援専門員フォローアップ研修会	1
	株式会社トーカイ 事例で学ぶ高齢者虐待防止法解説セミナー	2
3 月		

内部研修

	研修名	参加人数
6 月	感染症の予防及びまん延の防止のための研修・訓練	4
7 月	第 1 回 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討するための委員会	4
	虐待の防止のための研修	4
9 月	BCP 訓練～実際に災害が発生した場合を想定した机上訓練～	4
10 月	第 2 回 感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討するための委員会	4
12 月	虐待防止検討委員会	4

※上記の他、毎週居宅内会議

8. 調理室

給食管理では人員不足が継続する中、調理業務を一部委託し業務調整を行うことで、利用者、入居者に安定した給食サービスを提供することができた。

栄養管理については、低栄養状態が認められた高齢利用者に対し、個々の口腔機能、嗜好を踏まえて食事形態および食事内容を個別に調整した。栄養量の確保を目的に、歯科衛生士をはじめとする多職種と連携を行い、刻み、ミキサー食への変更や補助食品の追加を行い、食事摂取量の向上を図った。その結果、一定の体重増加および栄養状態の改善が見られた。

1. 栄養管理に関する業務

(1) 特養入居者食事形態の調整

歯科衛生士、介護職等と協議を行い、入居者に最適な食事形態で提供することで食事摂取量の増加がみられた。

(2) 栄養マネジメント管理

栄養マネジメント強化加算に伴う、管理栄養士による週3回以上のミールランドを実施し、入居者一人一人の食事状態を評価し、食事環境、食事の内容、食具の工夫を行い低栄養の予防へつなげた。

栄養スクリーニング結果については図1、栄養マネジメント強化加算の実績については表1に示す。

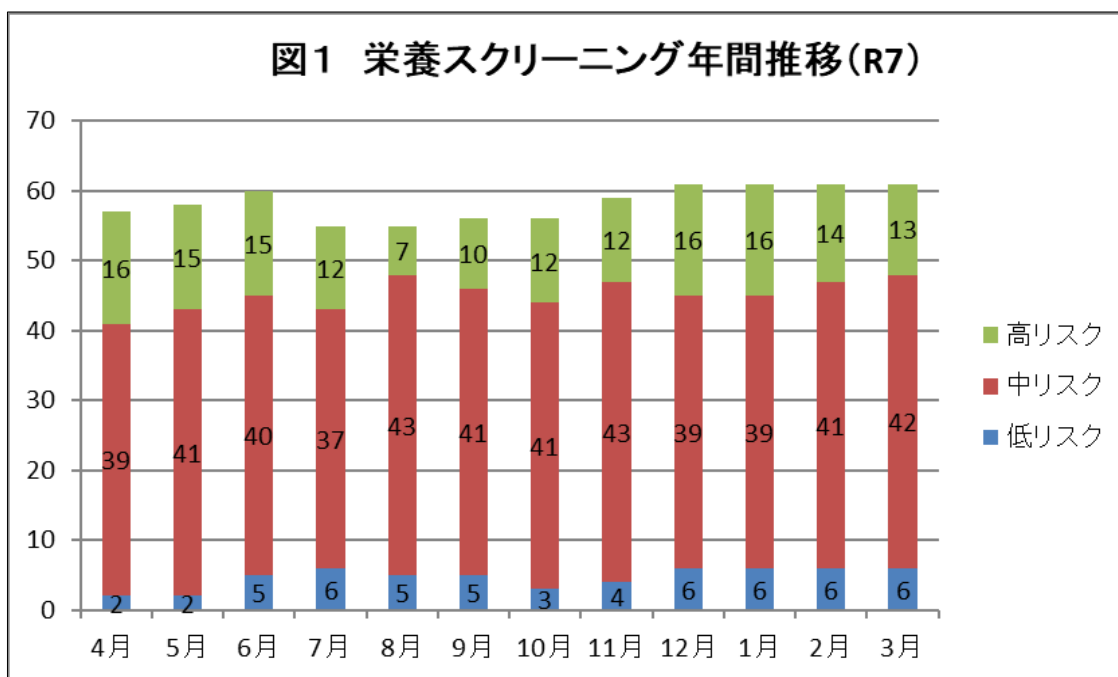


表 1 栄養マネジメント強化加算 実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	1,621	1,720	1,634	1,772	1,725	1,615	1,738	1,770	1,869	1,841	1,688	1,848	20,841
R6	1,640	1,771	1,738	1,760	1,677	1,703	1,708	1,626	1,707	1,516	1,519	1,680	20,045

療養食対象となる疾患のある入居者に対し、管理栄養士から食事の提案を行い、医師の指示の下、療養食の提供を行うことで、病状悪化の予防に繋がった。療養食加算の実績については表 2 の通りである。

表 2 療養食加算 実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	653	651	630	651	630	579	702	580	665	725	582	706	7,754
R6	663	708	720	744	712	766	753	535	597	651	577	586	8,012

(3) 経口維持加算について

経口維持加算の対象者数は表 2 の通りである。歯科衛生士をはじめ多職種と連携を図り、栄養状態の向上・維持に努めた。
実績は表 3 の通りである。

表 3 経口維持加算 I・II 実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R7	8	7	9	9	9	7	6	8	9	9	7	7	95
R6	8	8	9	9	9	9	9	9	9	6	8	9	102

(4) 特養食堂の環境整備について

特養の居室、食堂の改修工事に伴い、特養職員と連携を図り、工事中も食事をスムーズに提供することができた。また、食堂のレイアウト検討を行い、介護職員、入居者様の双方にとって食事提供が円滑に行えるよう努めた。

2. 献立に関する業務

(1) 調理業務委託により献立の調整

完全調理済み食品の業者と、調理業務委託先の管理栄養士と打ち合わせを重ね、献立発注業務の調整を行った。

(2) ケアハウスの基本・予定献立

ケアハウスの嗜好調査の意見を反映し、メニューや食材の見直しを行い質の向上に努めた。食事の全体アンケート結果は表4の通りである。

表4 ケアハウスアンケート結果（R8. 1月実施）

肉の量	多い	ちょうど良い	少ない	無回答
	9%	75%	15%	1%
魚の量	多い	ちょうど良い	少ない	無回答
	12%	66%	21%	1%
料理の品数	多い	ちょうど良い	少ない	無回答
	6%	78%	15%	1%
主菜の味付け	濃い	ちょうど良い	薄い	無回答
	24%	72%	3%	1%
副菜の味付け	濃い	ちょうど良い	薄い	無回答
	11%	76%	11%	2%
汁物の味付け	濃い	ちょうど良い	薄い	無回答
	21%	66%	12%	1%
主菜の見た目	良い	普通	悪い	無回答
	29%	50%	20%	1%
副菜の見た目	良い	普通	悪い	無回答
	23%	55%	22%	0%

※50枚配布 35枚回答（回収率70.0%）

(3) 年間行事食

年間を通して季節に応じた行事食を提供した。各月の行事食は表5の通りである。

表5 年間行事

4月	花祭り	【その他】 誕生日会（ケーキ）、パンの日（毎月）、 味ご飯（毎月）、丼物（毎月）、 冷たい麺（夏季）、温かい麺（冬季）、 鍋（冬季）、刺身（冬季）
5月	こどもの日 母の日	
6月	父の日	
7月	七夕 土用丑の日	
9月	敬老会	
10月	ハロウィン	
12月	忘年会 クリスマス 年越しそば	
1月	おせち料理 七草粥 鏡開き	
2月	節分 バレンタインデー	
3月	ひな祭り ホワイトデー	

3. 調理に関する業務

(1) 業務管理について

人員の変動、業務内容の増減に合わせて、管理栄養士、調理員で週 1 回の会議を開催し業務体制や勤務の調整を行った。

また、洗浄業務を担うパート職員を雇用することで、社員が専門性の高い業務に専念できる体制を整え、業務の効率化を図った。

(2) 機器・設備管理について

大型機器、厨房設備においては表 6 の通り修繕、新規購入を行った。

表 6 修繕内容新規購入一覧

月	機器・器具	内容
4 月	ブラストチラー	ファン交換
7 月	スポットエアコン（厨房）	取替工事
10 月	スポットエアコン（下処理室）	ドレン配管交換
1 月	再加熱カート	扉修繕
年 2 回	スチームコンベクションオープン	軟水器カートリッジ交換
	ブラストチラー	専門業者による洗浄作業

4. 食単価について

令和 7 年度は表 9 のとおりとなった。食品の高騰に加え、完全調理済み食品を一時的に利用したこと、調理業務委託をしたことで前年度に比べ価格が高騰した。

表 9 食単価実績

(単位：円)

	特養（1 日）	ケアハウス（1 日）	デイサービス（1 食）
R7	1,111	1,004	411
R6	864	825	359

5. 各種参加会議

表 10 のとおり、各種会議に参加し、業務の連携に努めた。

表 10 会議一覧表

会議等の名称	会議の内容	実施状況
ケアハウス・デイサービス給食会議	来月の行事予定、利用者からの要望の聴取等	月 1 回
特養給食会議	来月の行事予定、利用者からの要望等聴取等	月 1 回
特養口腔会議	口腔ケアについて、経口維持加算について等	月 1 回
特養褥瘡・感染会議	利用者の状態報告、褥瘡予防について等	月 1 回
栄養ケアマネジメント会議	特養利用者に関する栄養報告、食事内容の検討等	月 1 回
特養カンファレンス	特養利用者に関する報告、ケア計画等	随時
調理室内会議	調理室の業務に関する報連相等	週 1 回
配膳・改修工事会議	皿盛り配膳、改修工事に向けての協議等	月 2 回

6. 関連機関への報告

表 11 の通り、関係機関へ報告を行った。

表 11

実施月	関係機関	内容
5・11 月	鳥栖保健福祉事務所	栄養報告書の提出

7. 外部研修や行政事業へ参加

表 12 の通り、外部研修や行政事業へ参加した。

表 12

実施月	研修名・事業名	主催者
7 月	令和 7 年度佐賀県老施協養護老人ホーム部会／軽費老人ホーム・ケアハウス部会合同「栄養士・調理員研修会」	社会福祉法人佐賀県社会福祉協議会
10 月	令和 7 年度特定給食施設研修会	鳥栖保健福祉事務所健康推進担当
11 月	令和 7 年度福祉事業部第 2 回研修会	公益社団法人 佐賀県栄養士会
11 月	令和 7 年度食品衛生責任者実務講習会	公益社団法人佐賀県食品衛生協会鳥栖支部
11 月	サガケアお仕事チャレンジ	佐賀県長寿社会課

9. レインボー保育園

昨年度の職員退職後、保育士の確保が難しく、子どもの受け入れが減少したため、他園同様人材の確保が課題となる。

0歳から5歳児までの乳幼児を預かり、体験遊びや集団生活を通して、担当制保育・縦割保育を実施し、子どもたち一人ひとりの成長発達をより細やかに伸ばす関りと豊かな人間形成に力を注いだ。

保育所保育指針に則り、保育活動を効果的にかつ適正に行うため、令和7年度は次のとおり実施した。

1. 保育支援

子ども・子育て支援に関する保育、延長保育を実施した。本年度の利用者数推移は以下のとおり。

(1) 園児数推移

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	89	87	90	91	95	95	94	94	94	96	94	94

(2) 延長保育利用者

(上段:月の利用者数、下段:月の延べ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	23	22	17	24	20	18	15	15	16	14	15	20
延	143	102	111	121	108	110	117	84	60	75	70	89

2. 健全な成長のお手伝い

- (1) サガンドリームの指導者によるサッカー教室を実施した。
- (2) 3・4・5歳児を対象に体育専門講師による体育教室を実施した。
- (3) 園医による内科健診、歯科検診を年2回行った。
- (4) 4・5歳児を対象に虫歯予防の一環として、フッ素洗口を行った。
- (5) 日々の健康チェックを行い、毎月身体測定を行った。

3. 家庭的雰囲気の中での発達に応じた保育

- (1) 0・1・2歳児には、愛着関係形成のために担当制保育を実施した。
- (2) 3・4・5歳児には、社会性を育むために、縦割保育を実施した。

4. 情操教育(ゆたかなこころ作り)の充実

- (1) 子どもの感性と身体発達にあった「わらべうた」を取り入れた。
- (2) 七夕、節分などの行事で季節感や日本文化に興味を持った。

5. 将来の夢につながる知育教育

海外留学経験のある英語講師を招き、音楽を取り入れながら英語教室を行い、国際感覚を養えるようにした。

6. 地域との共生をめざす保育

施設、地域の方々との触れ合いは、隣接している高齢者施設の方々と田代駅周辺の花壇に年長クラスの園児と一緒に花植えを行った。

令和7年度 年間行事実績

月	行 事
4月	クラス新編成・内科健診
5月	交通安全教室・検尿・親子レクレーション（幼児対象）・歯科検診
6月	保育参観（0・1・2歳児）・歯みがき指導（年中・年長児対象）
7月	プール開き・七夕・カレークッキング
9月	サッカー教室・敬老の日のお楽しみ会・アウトリーチ
10月	運動会・サッカー教室
11月	保育参観（0歳クラス以外）・内科健診・検尿・芋ほり・歯科検診
12月	クリスマス会
1月	生活発表会（幼児対象）・サッカー教室
2月	節分・保育参観（0歳児）・サッカー教室
3月	お別れ遠足（年長児対象）・卒園式・入園説明会（次年度入園児対象）

10. 虹の子保育園

喫緊の課題として昨年度同様、保育士の確保が必要となっている。次年度も引き続き人材確保に積極的に取り組んでいく。

保育内容に関しては、乳児クラス（0～2歳）は担当制、幼児クラス（3～5歳）は縦割り保育を行い、子どもたち一人ひとりの成長発達をより細やかに見ていくことに努めた。保護者とも親密な関係を築くことができ、安心感、安定感があると、高い評価を得ることができた。

職員に対しては、キャリアアップ研修の受講、また、園外研修、園内研修や、講演会への参加を通して、専門的知識習得のため積極的に多くの職員が取り組むことができた。

保育所保育指針に則り、保育活動を効果的にかつ適正に行うため、令和7年度は次のとおり実施した。

1. 保育支援

子ども・子育て支援に関する保育、延長保育を実施した。本年度の利用者数推移は以下のとおり。

（1）園児数推移

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	67	69	69	70	70	71	71	73	73	73	74	74

（2）延長保育利用者

（上段：月の利用者数、下段：月の延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	6	5	8	5	6	10	6	7	6	10	17	9
延	36	29	35	29	27	79	71	53	51	93	73	87

2. 健全な成長のお手伝い

- （1）保育士や看護師により、日々の健康観察を行った。
- （2）月に一度、身長、体重などの身体測定を行った。
- （3）春と秋には園医による健康診断・歯科検診を実施した。
- （4）虫歯予防のため、4・5歳児には週に一度、フッ素洗口を行った。
- （5）3・4・5歳児を対象として、体育専門講師による体育教室を行った。

3. 家庭的雰囲気の中での発達に応じた保育

- （1）0・1・2歳児には、愛着関係形成のために、担当制保育を実施した。
- （2）3・4・5歳児には、社会性を育むために、縦割保育を実施した。

4. 情操教育（ゆたかなこころ作り）の充実
 - （１）子どもの感性と身体発達にあった「わらべうた」を取り入れた。
 - （２）七夕、節分会、七五三参り、クリスマス会などをとおして、季節感や日本文化に親しみを持った。
5. 将来の夢につながる知育教育
 - （１）英語教師や体育専門講師を招き、遊びをとおして英語や運動体験を行った。
 - （２）七夕や節分などの季節の行事をとおして、季節感や日本文化に親しみを持った。
6. 地域との共生をめざす保育
 - （１）週に２回（火曜日・木曜日）、子育て支援のため園庭を解放して、遊びの場を提供した。
 - （２）鳥栖市内の消防署・警察署・駅に行き、様々な仕事の見学をし、地域交流を図った。

令和７年度 年間行事实績

月	行 事
４月	クラス新編成、内科健診
５月	幼児交通安全教室、歯みがき指導、歯みがき講話
６月	芋苗植え、歯科健診、保育参観、消防署見学、親子ふれあい会
７月	水遊び、七夕会、フレスポ見学
８月	鳥栖警察署見学、アウトリーチ
９月	敬老の日の集い
10月	運動会、虹の子まつり、内科健診
11月	七五三お参り、歯科検診、保育参観
12月	クリスマス会、虹の子フェスタ
１月	サッカー教室
２月	節分会
３月	お別れ遠足、入園進級説明会、卒園式

11. あいりす保育園

保育の内容においては、乳児クラス（0・1・2歳）は担当制保育、幼児クラス（3・4・5歳）は、縦割り保育を実施し、子どもや保護者、また職員の安心安全な環境づくりに努めた。

運営面においては、令和5年に新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行したが、時期を問わずインフルエンザの流行などもあり、玄関やクラス出入口での手指消毒などは引き続き実践している。

また、特別保育事業として、延長保育、障害児保育、子育て拠点事業を実施した。子育て支援センター『ありがとう』と放課後児童クラブ『にじのひろば』を併設する当園の強みを生かし、保育園入園前から卒園後の一貫したサービス事業を展開することができた。

特に『ありがとう』ご利用者様から子育てのお悩み相談がある場合には、園長が支援センターへ出向いて対応することもあった。また、園庭で戸外あそびをしている保育士が、ご利用者様からの保育園に関する様々な質問に答えることもあった。

1. 保護者の為の子育て支援

通常保育、延長保育を下記のとおり実施した。本年度の利用者数推移は以下のとおり。

（1）園児数推移

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	65	66	66	68	68	69	70	70	69	70	70	70

（2）延長保育利用者

（上段：月の利用者数、下段：月の延べ人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	11	10	9	8	9	10	9	8	10	9	10	13
延	73	68	74	81	64	88	89	81	75	82	85	98

2. 健全な発育のお手伝い

園児の健康管理については、毎日登園後の触診や検温を実施し、毎月身体測定を行った。年に2回、園医による内科健診・歯科検診を実施し、4・5

歳児対象に毎週1回フッ素洗口を行った。また、九州医療専門学校の学生が来訪し、大きな歯形模型を使って正しい歯磨きを教えたり、寸劇で虫歯予防を呼びかけたりした。

3. 家庭的雰囲気の中での発達に応じた保育

乳児（0・1・2歳児）においては、担当制保育を取り入れ、家庭的な雰囲気の中で個々の発達に応じた保育を行った。

幼児（3・4・5歳児）においては、縦割り保育で異年齢児と関わる中で、相手を思いやる心や自主性、自立心を育む保育を行った。

4. 情操教育（ゆたかな心づくり）の充実

年間を通して、日本独特の文化行事に触れる機会をつくった。各年齢に合った七夕会や節分会を行うことで、日本に伝わる行事を知ることができた。また行事に関連した給食（行事食）を提供した。

5. 将来の夢につながる知育教育

英語教室では、音楽に合わせて体を動かしながら楽しく英語を学び、体育教室やサッカー教室では、年齢別に運動遊びを楽しんだ。また、各教室での学びを、運動会や発表会で保護者へ披露することができた。

6. 地域との共生をめざす保育

園外保育では、保育園近郊にある工場見学へ行ったり、近所の神社やお寺、公園へ散歩に出掛けたりした。また、運動会の総練習にはデイサービスご利用者様をご招待して、園児の応援をしてもらった。

令和7年度 年間行事实績

月	行 事
4月	入園のつどい、内科健診（全園児）
5月	運動会（3・4・5歳児）、キューピー工場見学、交通安全教室（年長児）
6月	保育参観（全園児）、歯科検診（全園児）、歯磨き指導（3・4・5歳児）
7月	水遊び開始（0歳児のみ沐浴）、七夕会
9月	アウトリーチ、敬老の日のお楽しみ会（3・4・5歳児の祖父母と園児）
10月	夕涼み会（年長児）、ハロウィン
11月	運動会（3・4・5歳児）、内科健診、歯科検診、秋の遠足、七五三お詣り

12 月	クリスマスをつどい、発表会（3・4・5 歳児）
2 月	保育参加、節分をつどい
3 月	お別れ親子遠足（年長児）、お別れ会（全園児）、卒園式

12. 地域子育て支援拠点事業（きらら館、オンリーワン、ありがとう）

子育て支援センターは、平成 20 年に「きらら館」、平成 21 年に「オンリーワン」、そして平成 29 年に「ありがとう」を開設し、地域の実情に応じたきめ細やかな子育て支援サービスを目指し、子育て中の保護者の負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境整備に努めた。

子ども一人世帯への支援は、家庭環境や体験したことが一人ひとり違うので、その子にとって最善の援助をし、感性や活動の広がり、豊かな体験へと繋がっていくような支援に努めた。

感染拡大防止対策として遊具等の消毒や職員のマスク着用等、日々の感染対策を行った。

1. 月別・親子別延べ利用者数

（きらら館）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
保護者	66	60	86	124	103	93	119	68	81	80	86	104	1,070	937
子	74	64	91	148	126	99	130	67	86	86	87	109	1,167	1,041
計	140	124	177	272	229	192	249	135	167	166	173	213	2,237	1,978
開所日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	240
平均(組)	3.0	2.9	4.0	5.4	5.0	4.6	5.2	3.7	4.0	4.1	4.6	4.7	4.3	3.9

※1,050 組

（オンリーワン）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
保護者	149	135	136	150	121	126	166	122	151	117	88	147	1,608	2,113
子	175	158	152	178	146	156	192	144	183	146	107	186	1,923	2,486
計	324	293	288	328	267	282	358	266	334	263	195	333	3,531	4,599
開所日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	239
平均(組)	7.1	6.7	6.5	6.8	6.1	6.3	7.5	6.8	7.5	6.1	4.8	7	7.8	8.7

※現在、午前・午後各 7 組の予約制にてフリールーム実施中

（ありがとう）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
保護者	76	74	71	95	85	93	102	73	68	57	67	71	932	682
子	92	81	80	108	94	99	117	82	78	64	74	84	1053	795
計	168	155	151	203	179	192	219	155	146	121	141	155	1985	1477
開所日数	21	20	20	22	20	20	21	18	20	19	18	21	240	241
平均(組)	3.6	3.7	3.6	4.3	4.3	4.7	4.9	4.1	3.4	3.0	3.7	3.4	3.9	2.8

※予約なしでフリールーム実施 ※室内、戸外での食事（12 時～13 時）実施

2. 年齢別延べ利用者数（子ども数）

（きらら館）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0 歳	19	26	38	53	51	36	65	34	31	28	28	26	435	172
1 歳	28	25	33	56	41	50	44	29	36	41	50	60	493	297
2 歳	11	5	16	12	13	10	16	3	11	10	6	16	129	398
3 歳	13	6	4	17	11	1	2	1	5	4	0	4	68	132
4 歳～	3	2	0	10	10	2	3	0	3	3	3	3	42	42
計(人)	74	64	91	148	126	99	130	67	86	86	87	109	1,167	1,041

(オンリーワン)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0歳	83	80	71	79	45	64	85	49	37	30	26	38	687	807
1歳	40	47	55	56	52	52	73	55	89	73	51	75	718	664
2歳	17	19	17	12	13	21	19	24	21	18	16	30	227	736
3歳	30	9	8	21	21	16	12	9	18	16	8	13	181	181
4歳～	5	3	1	10	15	3	3	7	18	9	6	30	110	98
計	175	158	152	178	146	156	192	144	183	146	107	186	1923	2,486

(ありがとう)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0歳	24	30	26	32	28	41	52	28	27	15	14	14	331	269
1歳	42	38	41	56	41	49	43	32	28	30	41	41	482	216
2歳	9	5	7	8	14	3	16	16	11	11	13	20	133	169
3歳	11	6	2	3	4	3	2	2	5	4	3	3	48	102
4歳～	6	2	4	9	7	3	4	4	7	4	3	6	59	41
計(人)	92	81	80	108	94	99	117	82	78	64	74	84	1053	797

3. 年齢別・新規利用者数

(きらら館)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0歳	6	4	5	7	1	6	7	4	3	2	4	8	57	39
1歳	6	3	5	5	0	3	2	0	1	1	2	3	31	28
2歳	0	2	0	1	1	2	2	1	0	1	0	0	10	10
3歳	2	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	9	7
4歳～	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	4	4
計(人)	14	10	11	16	3	11	11	6	5	4	6	12	111	88

(オンリーワン)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0歳	8	4	4	7	8	8	16	2	3	4	2	11	77	101
1歳	0	2	3	0	2	3	3	1	4	3	5	0	26	34
2歳	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	2	8	20
3歳	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	5	6
4歳～	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5
計(人)	8	6	7	8	14	14	20	6	7	7	7	13	117	166

(ありがとう)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度計
0歳	7	5	3	4	7	10	9	4	2	2	6	3	62	70
1歳	3	3	1	2	2	3	0	0	0	1	2	0	17	22
2歳	0	0	3	1	1	1	2	1	0	0	0	2	11	9
3歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6
4歳～	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2
計(人)	10	10	7	8	10	14	11	5	3	3	8	5	94	109

4. 子育てに関する相談件数

(単位：件数)

相 談 内 容	きらら館	オンリーワン	ありがとう
発達について（歩行・排泄 など）	14	12	18
発育について（身長・体重・食事など）	23	439	24
ことばについて	4	4	4
行動について	7	7	12
就園について	25	42	75
保護者自身について（仕事・病気・生活環境・その他）	18	12	12
相談後の経過報告及び近況報告など	8	16	16
その他	10	17	63
計	109	549	224

5. 子育てに関する講習会・講演会 (きらら館)

月	日（曜）	行 事 名	参加者(組)
4 月	1 日(火)	皆でお散歩	3
	14 日(月)	きららん Time	2
	18 日(金)	アンパンマンのびっくり箱作り	8
5 月	12 日(月)	きららん Time	2
	13 日(火)	皆でお散歩（2 組キャンセルの為中止）	-
	20 日(火)	シャボン玉遊び（東公園）	16
6 月	3 日(火)	皆でお散歩（雨の為中止、フリールーム）	-
	9 日(月)	きららん Time	3
	10 日(火)	スキンタッチ講座	7
7 月	-	皆でお散歩（気温が高いため中止）	-
	14 日(月)	きららん Time	7
	18 日(金)	ミュージックケア（きざとのまちづくり推進センター分館）	14
	22 日(火)～31 日(木)	夏の工作「風鈴作り」	25
8 月	-	皆でお散歩（気温が高いため中止）	-
	1 日(月)	推し活うちわ作り	8
	18 日(金)	きららん Time	4
9 月	-	皆でお散歩（気温が高いため中止）	-
	8 日(月)	きららん Time	0
	9 日(火)	敬老の日フォトフレーム作り (体調不良でキャンセル 2 組はフリールームにて対応)	6
10 月	7 日(火)	皆でお散歩	5
	17 日(金)	ヤクルト出張講座「ウン知育教室」	7
	20 日(月)	きららん Time	1
11 月	4 日(火)	皆でお散歩	4
	10 日(月)	きららん Time	3
	21 日(金)	2026 カレンダー作り	5
12 月	2 日(火)	皆でお散歩	0
	8 日(月)	きららん Time	5
	19 日(金)	ミュージックケア（きざとのまちづくり推進センター分館）	8

	1 日(月)～8 日(月)	冬の工作（クリスマス飾り）	12
1 月	9 日(金)	きららん Time	5
	16 日(金)	皆で運動遊び	8
	20 日(火)	皆でお散歩	4
2 月	3 日(火)	皆でお散歩（体調不良でキャンセル）	0
	9 日(月)	きららん Time	4
	20 日(金)	アンパンマンのぽっとな落とし作り	8
3 月	3 日(火)	皆でお散歩（雨天中止）	—
	9 日(月)	きららん Time	2
	17 日(火)	アンパンマンの椅子作り	8
	2 日(月)～13 日(金)	お譲り会	

(オンリーワン)

月	日 (曜)	行 事 名	参加者(組)
4 月	18 日(金)	ベビーサロン	6
	25 日(火)	消防署見学	11
	4 月	春フォトプレゼント	52
5 月	2 日(金)	作ってわくわくタイム（制作）	9
	20 日(火)	スキンタッチ講座	5
	30 日(金)	出前フリールーム	13
	5 月	5 月フォトプレゼント	47
6 月	20 日(金)	ベビーサロン	7
	27 日(金)	ビニール袋であそび	17
	6 月	6 月フォトプレゼント	54
7 月	4 日(金)	作ってわくわくタイム（制作）	9
	15 日(火)	歯科検診	7
	25 日(金)	出前フリールーム	14
	7 月	7 月フォトプレゼント	49
8 月	26 日(火)	ベビーサロン	4
	29 日(金)	牛乳パックのいす作り	5
	8 月	8 月フォトプレゼント	68
9 月	5 日(金)	作ってわくわくタイム（制作）	11
	12 日(金)	ヨガ講座	3
	26 日(金)	出前フリールーム	11
	9 月	9 月フォトプレゼント	60
10 月	17 日(金)	ベビーサロン	6
	24 日(金)	消防署見学	16
	31 日(金)	作ってわくわくタイム（制作）	7
	10 月	10 月フォトプレゼント	58
11 月	13 日(金)	英語 de リトミック	9
	28 日(金)	出前フリールーム	10
	11 月	11 月フォトプレゼント	48
12 月	19 日(金)	クリスマス会	16
	24 日(水)	作ってわくわくタイム（制作）	13
	12 月	12 月フォトプレゼント	69
	12 月	カレンダー作成	82
1 月	23 日(金)	牛乳パックのいす作り	5
	30 日(金)	出前フリールーム	5
	1 月	1 月フォトプレゼント	62
2 月	3 日(火)	作ってわくわくタイム	5
	20 日(金)	親子ふれあい体あそび	3
	25 日(水)	Coco baby 教室	5
	2 月	節分フォトプレゼント	51

3月	3日(火)	作ってわくわくタイム(制作)	7
	27日(金)	出前フリールーム	7
	31日(金)	お外で遊ぼう講座 お花見	10
	3月	ひなまつりフォトプレゼント	56

※身体測定(手・足型、写真入り/測定のみ)年間 420件参加。

(ありがとう)

月	日(曜)	行 事 名	参加者 (組)
4月	16日(水)	赤ちゃんの時間	5
	25日(金)	手形の壁飾り作り	4
5月	14日(水)	赤ちゃんの時間	3
	22日(木)	英語リトミック	9
	30日(金)	ハンドマッサージとルームスプレー作り	4
6月	18日(水)	赤ちゃんの時間	3
	27日(金)	音楽あそび	9
7月	1日(火)～7日(月)	七夕飾り作り	16
	16日(水)	赤ちゃんの時間	5
	17日・24日・31日(木)	プールの日(毎週木曜日)	17
8月	20日(水)	赤ちゃんの時間	6
	29日(金)	牛乳パックのイス作り	4
	21日・28日(木)	プールの日(毎週木曜日)	11
9月	5日(金)	ハンドマッサージとルームスプレー作り	4
	10日(水)	赤ちゃんの時間	5
	26日(金)	親子ふれあい体遊び	10
10月	10日(金)	ハロウィン手形飾りとかぼちゃバック作り	4
	16日(木)	英語リトミックと親子ふれあい体遊び	14
	22日(水)	赤ちゃんの時間	5
11月	7日(金)	芋ほり体験	7
	19日(水)	赤ちゃんの時間	5
	28日(金)	カレンダー作り	8
12月	12日(金)	音楽あそびクリスマス会	10
	17日(水)	赤ちゃんの時間	5
1月	21日(水)	赤ちゃんの時間	1
	29日(金)	牛乳パックのイス作り	4
2月	6日(金)	英語リトミック	9
	18日(水)	赤ちゃんの時間	3
3月	13日(金)	ハンドマッサージとルームスプレー作り	4
	18日(水)	赤ちゃんの時間	3
	25日(水)	お花見さんぽ(雨天中止)	-

※食事利用者：子ども95人、保護者82人、親子計177人

13. 放課後児童クラブ にじのひろば

開所して9年になり、通年利用者数は約20～24名で推移した。

保護者との連携のみならず、学校、保育園、地域とも連携しながら子ども達や家族にとって、安心・安全な放課後児童クラブとなるよう努めた。

人材育成としては、2名のスタッフが放課後児童支援員認定資格を取得し、より専門性をもって共通認識をもって支援にあたることができた。

また、鳥栖市放課後児童クラブ連絡協議会の活動として、令和6年度末に補助要綱改正の為に向門市長と共に佐賀県出身の国会議員4名、子ども家庭庁へ要望活動を行った。その結果、令和8年より補助要綱が見直されることとなった。

利用登録数

(単位：人)

春休	4月	5月	6月	7月	夏休	9月	10月	11月	12月	冬休	1月	2月	3月	春休
31	24	24	24	32	32	23	23	22	22	22	22	20	26	21

令和7年度 年間行事実績

月	行 事
4月	新入生歓迎会、新1年生利用者の情報交換会（田代小）
5月	法人への事業報告書提出、学童クラブ連絡会議
6月	七夕飾り準備
7・8月	夏祭り、イベント大会、田代小との連携会議、田代小体育館での運動、2学期始業式
9月	ピアノ調律
10月	ハロウィンパーティー、芋ほり、給食（弁当）提供のための視察
11月	顧問議員との懇親会、放課後児童クラブ連絡会
12月	R8. 1次願書配布、終業式、冬休み、願書受付1次、年末年始閉所
1月	新年会、願書受付2次
2月	可否発送、新規利用者説明会、幼保小連絡会
3月	兄弟児減免補助金決算提出、補助金請求、修了式、田代小卒業式 春休み、処遇改善一時金資料提出